

寺報

No.669

令和5年5月

蓮華寺
發行

御聖訓

やはしる事は弓のちから、く
ものゆくことはりゆうのちから、
をとこのしわざは女のちからなり。

『富木尼御前御書』



(解説)

日蓮大聖人は「矢が飛ぶのは弓の力であり、雲の起るのは龍の力、それと同じように男の働きは女の力である。」とお説きになりました。

この当時は、夫婦とは夫唱婦隨が当然とされていた時代ですので、この大聖人の女性観は少し違っていたのです。

この『富木尼』のように、妻が内助の功を發揮するという事は、妻が夫に従っているようですが、実は逆に夫を従え、そして支えているのだと教えられたのです。

つまり、夫の繁栄や夫婦の繁栄には、このような妻の賢さが大事な役割を占めているという事です。

この事は、女性は本来備えているやさしさを表としてその裏では確かな強さを現わしていく事が大切なのだと説きます。

大聖人は、その為には法華経・お題目の信仰を支えとして生きる事を唱え、女性を激励されたのです。どうか、この点は現代の女性も少しは見習っていただく必要があります。

五月十三日(土)

午後一時より

於：大本堂

しゃく せん ご こう たん え
釈尊御降誕会
(花まつり)



*お釈迦様のお誕生日、甘茶の日です。
*皆様で、甘茶をかけお祝いしましょう。
*お供物も受け付けています。

お経の会議？

お釈迦様が亡くなられた後、弟子達の間で師のお言葉の解釈に少しずつ違いが出てきました。それは、お釈迦様は教えを説きましたが、自ら書き残す事はしなかったからです。そこで、五百人の弟子達が集まり師の教えを確かめあい、お経をまとめていく編集会議が開かれました。これを『結集』といいます。インドでは、今でも師の教えを忠実に心に残そうと、口伝で語り継ぐ習慣があるようですが、しかし弟子が増えてくると違った言葉で受け取る者もいたりしてそこにずれが生じてくるそうです。やがて『結集』によって統一されたお経は、文字に写されるようになりました。よく皆様が聞いた事があると思います、西インドの言葉である『パーリー語』や、また梵語の『サンスクリット語』のお経などがその後広まっていきました。そして中国を経て、漢字で伝わったお経の冒頭が、必ず「如是我聞」「我聞如是」で始まるのは、「弟子達がこのように私は聞きました」という意味なのです。

檀信徒研修会のお知らせ

☆五月二十七日(土)

聖典の読誦と唱題行

担当・・・住職上人

*『聖典の読誦(三十分)と唱題行(三十五分)』

☆お題目は七百回以上唱えられます。

時間：午後七時より

場所：小本堂(イス席です)

持参品：聖典(事務所にて)・数珠

*月一度の修行ですので、どうか皆様もこの機会を逃さず、お経とお題目を大きな声を出して心から唱えましょう。

*ご自分の修行の為、懺悔滅罪(反省)の為、家族や友人の為、また仏様や先祖の供養の為、と各々の各自の目標に向い頑張つて修行して下さい。

(注)コロナも落ち着いてきましたので、また以前のよう
に修行して下さい。

蓮華寺

「水子さん」のご供養

当山境内地の雪も消えましたので、今年も新たに『水子観音様』専用の「風車」をご供養の為にお願いします。

一体七〇〇円で、葉の部分に【供養】が書き入れる事が出来ますので、ご希望の方は事務所までお申し付け下さい。

当山では、この世に生を受ける事なく仏様の世界に旅立たれました水子さん、また早くに亡くなられた子供さんのご供養の為に、境内に『観音様』を安置しています。

この『観音様』の台座の中には、施主の名前を書き入れました「法名紙」が奉納出来ます。

「水子」「子供」の戒名や俗名、また「水子一切の霊」などを書き入れてもらい、奉納します。

★本堂で法要を行いご供養した後、「法名紙」を観音像の中に奉納する場合。 【二万円】

★観音像の前で直接ご供養し、「法名紙」を奉納する場合。 【二万円】

詳しくは当山にお問い合わせ下さい。

龍神様のお力

昔より、『龍神様』は我々に不可欠な水をつかさどり、更に大地に潤いをもたらす豊穰の神として信仰されてきました。

そして、そのお姿は水の象徴であります川がへビのように曲がりくねっていく、いわゆる蛇行から『龍神様』を想像し、そして神格化したものと考えられています。

インドでは、地上・水中・空中をつかさどる神としてあがめられ、仏教を守る八部衆の一員として大事にお祀りされました。

また、中国ではめでたい想像上の動物として龍を大切にし、更に雲を起こし雨を呼ぶお力があると考えられそれが転じて、火を封じ、我々や家などを火難から守ってくれる守護神としてもあがめていたのでした。

当山にお祀りされています『龍神様』も昭和二十年八月の青森空襲の際、そのお力を現わしました。

それは、空襲の数日前から当山の庭の池の水が突然あふれ出すという不思議な現象を起こしたのでした。



これは、何かの前兆ではないかと思っていた矢先、青森市はアメリカ軍から空襲に襲われ、市内は一面焼け野原となってしまったのでした。

当然、蓮華寺もいくつかの焼夷弾が当り、火の手が上がる状態でしたが、そのあふれ出た水のお陰で大本堂や他の建物も火災から守られたのでした。

しかし、こういう素晴らしいお力を持ちます『龍神様』も、そのお力が偉大過ぎる為に、粗末に扱ったり、また大切にお祀りしなかつたりしますと、容赦なく大雨・大洪水などをもたらし、自然を破壊してしまうという怖い面も備えています。

ですから、この水を司どる『龍神様』はしっかりと常に大事にお祀りし、そのお力を戴いていかなければならないのです。

以上の事から、仏教の守護神である『龍神様』は池・川・水の神として祀られるようになり、更に寺院の天井・欄間・柱などに描かれ彫られるようになったのでしよう。

毎月のお守り

値上げのお願い

今般、日蓮宗「靈断師会」本部より『靈神符』（毎月のお守り）の値上げのお願いが参りました。

物価上昇、靈神符作製の材料費の値上げ、人件費の値上げなどの理由で本部の財政状況が深刻化してきたそうです。

そこで、三月に開かれました全国支部長会議にて協議の結果、やむなく承認されたとの事です。

結果、令和五年の七月より値上げされる事が全国に通知されました。

そこで、当山もこれに習い来る七月分より、現行『百五十円』を『百八十円』に値上げする事に決まりました。

檀信徒の皆様には、何卒その意をおくみ取り戴き、よろしくご協力をお願い致します。

なお、参考までに全国平均では一体三百円となっております。



食堂（じぎどう）

現代語ではレストランまたダイニングルームというのでしよう。

しかし、仏教ではこの空間も修行の場所、つまり食事（齋）を行うお堂の事で「齋堂」ともいわれます。

ですから、食事の作法も厳しく、食事中は一切の言葉も禁じられ、また食器のふれ合う音、更におつゆなどの汁をすすする音、物をかむ音も許されず、「食堂」は静粛が支配しているようであればならないとされています。

更に、食後の食器もその場で自らが清めなければいけないのです。

今の人達は食べながらお話をするのが、マナーとされているから全く逆の状態です。

仏教では『しょくどう』とは言わず『じぎどう』と呼んでいます。

現在でも、日蓮宗の学生寮では、食べ始める前に『食法』という肝文を唱え、いまだに昔からの作法を行います。最後に『お題目』を三遍唱えて食事を終えているそうです。

五月の行事

一 日(月) 盛運祈願会

午後一時より

- ・ 毎月のお守り【霊神符】の交換の日です。
- ・ 必ずお勤めに参拝し、お題目とお経を唱え、感謝の気持ちを込めてお守りを交換しましょう。
- ・ 聖典(お経本)と数珠は必ずご持参下さい。

六 日(土) 甲子【大黒様の日】

朝のお勤め中

十三日(土) 日蓮大聖人のご命日

午後一時より

- ・ お経
如来神力品第二十一(訓読・日本語読み)
如来寿量品第十六(真読・漢字読み)
- ・ どの様も、大聖人への御報恩を忘れずに参拝しお題目とお経を唱えましょう。

十三日(土) 釈尊降誕会【花まつり】

午後一時より

十九日(金) 龍神様・七面様大祭

午後一時より

二十七日(土) 檀信徒研修会【唱題行】

午後七時より

☆奉仕のお知らせ

十三日(土) 花まつりの準備とお手伝い

- ◎ 教宣部男女・・・午前十一時より
- ※『花まつり』の行事は、大本堂で十三日講のお勤めの中で執り行われています。
- どうぞ、ご参拝かたがたお手伝いをよろしくお願い致します。

十九日(金) 龍神様・七面様大祭の準備とお手伝い

- ◎ 教宣部男女・・・午前 十時より
- ※当山客殿に於きまして、祭壇を設けて、行事を執り行いますので、お手伝いをよろしくお願い致します。

教宣部長・杉淵昌三

☆十三日(日蓮大聖人の月命日)の

お勤めには必ず参拝しましょう!

毎月十二日 午後一時より

最高の教え法華経

『位牌壇』の募集!

◎お寺に『位牌壇』がありますと、毎朝必ずお題目が唱え続けられていきますので、皆様の御先祖や仏様が今後代々に渡り守り続けられていきます。

◎仏様の御命日に当る日に、諸用や旅行などで不在の時でも、ご予約戴ければ『位牌壇』の前に追膳をお上げし、またご依頼があればお経も唱えさせて戴きます。

◎特に、青森では冬期間、お墓参りが出来ませんので『位牌壇』がありますと、常にお寺にお参りが出来ます。

◎最近の仕事などの関係から、家族が地元に住めずに仏壇を維持出来ない為、『位牌壇』に位牌を預かり青森に帰省した時にお参りをする方達も増えてきていますが、それでも構いません。

◎一年以上使用の方で、上位の位牌壇を希望する方は数がある限り無料でお譲り致します。

◎やむなく、ご親戚やご友人に譲渡する事も出来ますが、その際はお寺に必ずご連絡下さい。

蓮華寺 TEL 七七六一五八四〇

『霊断』のすすめ!

檀信徒の皆様で、日頃から何かお困り事や悩み事がありましたら、迷わず蓮華寺までご相談下さい。

日蓮宗に伝わる秘法『九識霊断法』にて、当山僧侶が解決、ご指導致します。

なお秘密厳守にて、宗旨宗派は問いませんので、お気軽にご相談下さい。

【ご相談料は、原則として一件につき三千元です】

『提灯』の募集!

当山で「鬼子母神大祭」「御会式」「お正月」の際に掲揚します『提灯』(トーロー)を募集致します。

作成価格は八千円で年間の管理費が【二千元】となりますので、初年度のみ一万円となります。

『聖徒団会員』募集!

毎月ついたちの「盛運祈願会」の中で、住職上人が各会員の『家内安全』をご祈願致します。

その他、大本堂御寶前のお花、皆様にお配りする新聞【聖徒タイムズ】・寺報等の援助などに活用します。

会費・・・年額二、四〇〇円(月二百円)

龍神様・七面様大祭

五月十九日（金）

午後一時より

於：蓮華寺客殿



七面天女

- * 龍神様・七面様の御神体ごしんたい・掛軸の御法楽（二千円）
- * 一般御法楽（千円）、祈願（八百円）
- * お供物も受け付けています。
- * 祈願・御法楽をお申込みの方にお札ふだを差上げます。